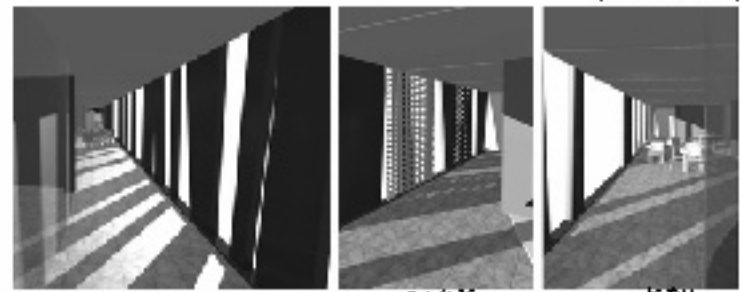
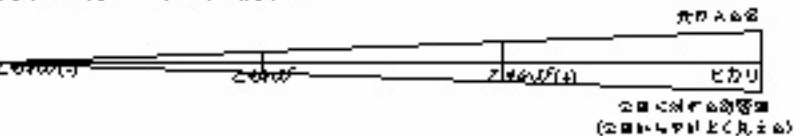


配置図 1/4000

□光の量に応じて高下の幅決める



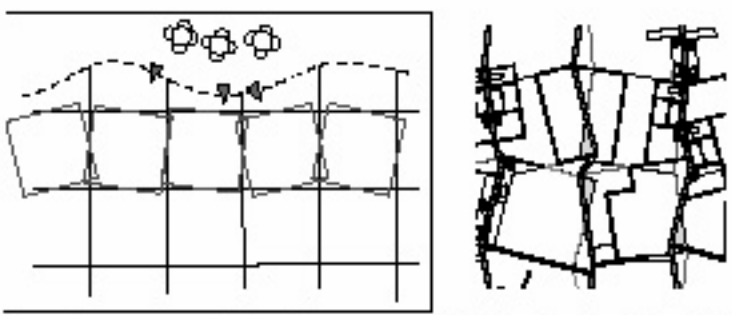
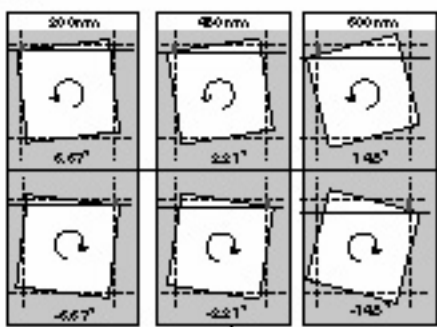
こもれび こもれび ヒカリ



ヒカリの入る量によって、天井の傾斜角による高さを決めるように天井と利用スペースの境界を決める。多く光が入る場所、オープンスペースは天井が高く且つ高層は天井が低く、オープンなどの利用空間は決まってくる。

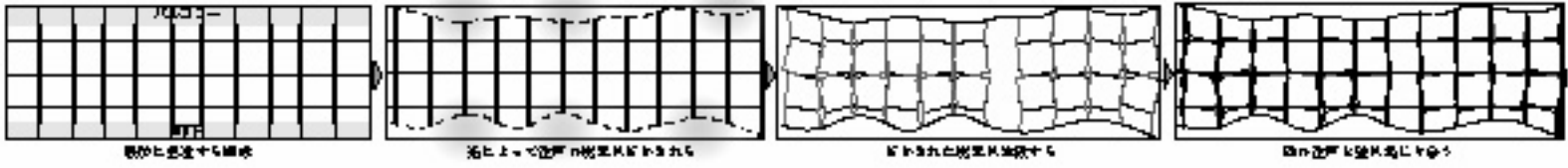
□柱戸の内部のグリッドの変化

3100x3100のグリッドを基本として、ヒューマンスケールの設計仕様のつくりに向けて変換し、最終的には同じく設計のベネチアンを基本とする。



天井の高さに応じて天井のグリッドをせり出し、同じグリッドによって天井と利用スペースの境界を決める。天井の傾斜角による高さを決めるように天井と利用スペースの境界を決める。

□居住空間の変化



標準的な居住空間のレイアウト 高によって天井の高さを決める 高さを決めるためのグリッド 高さを決めるためのグリッド